

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら北本教室		
○保護者評価実施期間	R8年1月19日		R8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	R8年2月1日		R8年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の進学・就職に関する情報を教室から発信・アドバイスできること	・教室便り ・Instagramにて支援内容を発信 ・送迎時に口頭で課題を伝える	支援学校や支援級を職員が見学し、支援に盛込みたい内容を常にアップデートしていく
2	保護者との関係値が高い これからの課題なども、常に伝え前向きに捉えながらご家庭と一緒に児童を見守ることができている	日頃から、コミュニケーションを怠らないようにしている。	保護者会などの開催を定期化する
3	児童の自立を目指した支援内容	学習主体にならないように、ご本人の将来を見据えて支援するようにしている。 支援プログラムにも就労意識が芽生えるような内容になるよう心掛けている。	職員全体が、高校卒業後の障害児がどのような環境に置かれるのかを見学し、プログラム内容につなげる。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	中心となって引っ張っていく職員の育成	思いがあっても、障害児の現状を見た時に違いがあり、断念する方が多い。	採用時の見極め
2	障害児から障害者へ変わるときに必要なスキルを職員全体が把握しないといけない	放デイはこういう場所という先行意識があるように思うが、実は卒業後のことをしらないので、自分たちの支援が正しいか分からず携わっていることが多い	障害者施設を経験された職員もいるので、必要な知識を知らない職員に伝達してあげることが必要
3			